※令和４年度以降入学生用

学校番号	403

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	東京書籍「地理総合」（地総 701），帝国書院「新詳高等地図」（地図 702）						
副教材等	東京法令出版「新編フォトグラフィア地理図説」						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・単に地名や事柄の暗記にとどまるのではなく，それぞれの国や地域の社会・文化・生活の様子を具体的に紹介し，エスノセントリズム（自民族中心主義）に陥らない考え方を育てる。
・『なぜ』の視点をもって地理的事象を学習する。
・地図・写真・音楽などの視聴覚教材を多用して，地理への興味・関心を引き出させる。
・新聞記事，インターネット等を利用して，最新の資料・情報を提供する。
・夏休みの宿題において，世界の国に関する特色をまとめた新聞を作成するので，学習の成果を形にしよう。

２　学習の到達目標

・地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
・地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。
・地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取り組みなどを理解している。 ・地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	・地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。 ・考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりすることができる。	・知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また，粘り強い取り組みを行う中で，自らの学習を調整しようとしている。 ・地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などが深まっている。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知 (a)	思 (b)	主 (c)
1	第１編　地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第1章　私たちが暮らす世界 1　緯度･経度 2　地球儀と世界地図 3　日本の位置と領域	世界各地における，太陽高度や昼夜の時間の季節変化と，標準時を確認し，緯度や経度との関係について考える。時差を利用したグローバルな活動の例を把握する。 地球儀上で方位や距離を計測し，さまざまな世界地図での描かれ方と比較することで，世界地図の特徴を考える。 領土問題発生の背景が国益の衝突にあることをふまえ，問題を平和的に解決するための方法について考えます。	a:世界地図や地球儀での表現方法ならびに日本の位置や領域についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表にまとめたりしている。 b:地球上の位置に関する事柄について，緯度・経度や世界地図・地球儀や領域の特徴をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:地球上の位置に関する事柄に対する関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。	定期考査	定期考査 レポート課題 ワークシート	レポート課題 振り返りシート

	第２章　地図や地理情報システムの役割 １　地図の種類 ２ 地形図のルール ３　主題図の種類と読み取り ４ 地理情報システムと地図	さまざまな種類･表現の地図を取り上げ，その役割について考える。 地形図を用いて土地利用，距離，面積など基礎的事項について読み取る。 主題図の読み取りを通じて地理的事象の分布の特性を把握する。異なる主題図を比較することで，空間的規則性を見いだす。 地理情報システム(GIS)の活用例を確認する。今昔マップ on the web を操作することで，地理情報システムの特徴を把握する。	a:地図についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表にまとめたりしている。 b:さまざまな地図について，縮尺・媒体・用途などに着目し，適切に整理している。さまざまな統計数値を，適切な主題図で表現している。GIS を操作し，計測結果や主題図を表示している。 c:紙の地図や GIS に対する関心を高め，閲覧や作業を通して，それらの特徴をとらえようとしている。			

	第３章　資料から読み取る現代世界 １　交通の発達 ２　情報通信の発達 ３　国境をこえる人々の移動 ４　拡大する貿易 ５　つながる世界，多極化する世界	流線図の作成や統計の読み取りを通じて，グローバルな結び付きの変化や，各種交通手段の特徴について考察する。 情報通信技術（ICT）の普及状況の推移や地域的な傾向を読み取ったうえで，情報通信技術の普及にともなう利点と課題を考察する。 主題図や統計資料を読み取り，国際移動の現況を考察する。 主題図や統計資料を読み取り，観光客の国際移動の特徴，観光客数の増加の社会的背景と課題について考察する。 統計を用いて，貿易品目・相手国の変化と産業構造・国家間の関係の変化との関係について考察する。 主題図を用いて，国家群・地域圏の変遷や課題を考察する。グローバル化の具体的な事象を通して，利点と課題を考察する。	a:交通・通信技術の発展と国境をこえたさまざまな結び付きについて，基本的な事柄と追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。交通・通信手段や貿易構造の変化，世界の国家群の特徴などについて，地図や図表の読み取りを通じて理解を深めている。交通・通信の利用・整備の状況や国境をこえた人・モノ・情報の移動，世界の国家群などについて，地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 b:交通・情報通信が国境をこえて結び付き，その結び付きがますます強固になっていることについて，地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。貿易や観光などにみられる国境をこえたモノや人の動きについて，地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。グローバル化の加速によって形成された地域経済圏や国家群について，地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:交通・通信の発達による社会の変化と，それとともに起こるようになった諸問題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。グローバル化の進む現代世界において，政治的・経済的な国家間の結び付きが強まっていることに対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。			

	第２編　国際理解と国際協力 第１章　人々の生活文化と多様な地理的環境 １節　生活文化の多様性と国際理解 １　文化の地域性と多様性 ２　宗教と人々の暮らし ２節　生活文化と自然環境 ①地形 １　山地の暮らし ２　平野の暮らし ３　海岸の暮らし	写真や具体例を用いて，文化とその多様性について理解する。 写真を用いて，さまざまな宗教のもつ特徴を把握する。地図を用いて，世界の宗教分布について歴史的背景を含めて理解する。 写真を用いて，山地に暮らす人々の生活を理解する。図を用いて標高の違いに対応した人々の工夫を学ぶ。 写真や地図を用いて，河川のつくる地形とその利用について学ぶ。 写真や模式図を用いて，海岸地形とその利用について学ぶ。	a：世界にみられる多様な文化について，基本的な事柄と追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。さまざまな産業とそれらの分布について基本的な事柄と追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 b：文化の違いがなぜ生じるかということについて，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。世界各地で多様な地形や気候・植生がみられることについて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ・さまざまな産業の特徴や産業立地，それらの変化について多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ・地域の文化や人々の暮らし，産業の違いを，それぞれの地域の自然環境との関連に着目しながら多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c：文化の多様性と異なる文化の理解や共存に関して関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。さまざまな自然環境に対応した人々の生活や産業の工夫について関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。技術の発展やグローバル化などによってどのように産業が発展・変容してきたかについて，関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。			

2	３節　生活文化と自然環境 ②気候 １　多様な気候とその分布 ２　熱帯の人々の暮らし ３　乾燥帯の人々の暮らし ４　温帯の人々の暮らし ５　亜寒帯・寒帯の人々の暮らし ４節　生活文化と産業 １　食生活と農業の分布	地図を用いて，気温の高い/低い地域や降水量の多い/少ない地域の分布をとらえる。写真を用いて，地域による気候の多様性を理解する。 雨温図の読み取り方を学び，気候区ごとの特徴を理解する。写真を用いて，自然環境とそれに対応する人々の生活の様子を把握する。 雨温図を読み取り，気候区ごとの特徴を理解する。写真や模式図を用いて，自然環境とそれに対応する人々の生活の様子を把握する。 雨温図を読み取り，気候区ごとの特徴を理解する。写真を用いて，自然環境とそれに対応する人々の生活の様子を把握する。 雨温図を読み取り，気候区ごとの特徴を理解する。写真を用いて，自然環境とそれに対応する人々の生活の様子を把握する。 写真や主題図を用いて，世界の食文化の多様性と農業の地域性について考察する。	a:世界にみられる多様な文化について，基本的な事柄と追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。さまざまな産業とそれらの分布について基本的な事柄と追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 b:文化の違いがなぜ生じるかということについて，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。世界各地で多様な地形や気候・植生がみられることについて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ・さまざまな産業の特徴や産業立地，それらの変化について多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ・地域の文化や人々の暮らし，産業の違いを，それぞれの地域の自然環境との関連に着目しながら多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:文化の多様性と異なる文化の理解や共存に関して関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。さまざまな自然環境に対応した人々の生活や産業の工夫について関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。技術の発展やグローバル化などによってどのように産業が発展・変容してきたかについて，関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。	定期考査	定期考査 レポート課題 ワークシート	レポート課題 振り返りシート

	２　工場立地の変化 ３　商業立地と人々の生活 ４　情報産業の発達と生活文化の変化	写真を用いて，さまざまな工業の特徴を把握する。主題図を用い，国や地域ごとの工業の違いと，その要因を考察する。 写真や図を用いて，さまざまな商業の特徴を把握する。図を用いて，近年における商業の変化とその要因を考察する。 写真や図を用いて，情報技術がさまざまな産業の情報化に寄与していることを把握する。				

	第２章　さまざまな地球的課題と国際協力 １節　地球環境問題 １　地球環境問題 ２　地球環境問題 ２節　資源・エネルギー問題 １　資源・エネルギーの偏在 ２　化石燃料から再生可能エネルギーへ	主題図を用いて地球環境問題の現状について視覚的にとらえる。統計から地球温暖化の現状を把握し，その背景・要因とそれがもたらす問題について考察する。 熱帯林破壊や砂漠化によってもたらされた問題をふまえ，問題解決のあり方について追究する。写真を用いて森林減少の現状を理解し，模式図を用いて砂漠化のメカニズムを考察する。 統計を用いて，エネルギー消費の南北格差の現状とその背景について考察する。統計を用いて，原油価格の推移とその背景について国際政治・経済との関わりから考察する。 写真やグラフを用いて，地球社会の持続可能性という観点から望ましいエネルギー政策について考察する。	a:さまざまな要因がからむ地球的な課題についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表にまとめたりしている。 b:地球的な課題について，地域性や歴史的背景，日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球的な課題に対する関心を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。			

	３節　人口問題 １　発展途上国の人口問題 ２　先進国の人口問題 ４節　食料問題 １　食料需給をめぐる問題 ５節　居住・都市問題 １　発展途上国の居住・都市問題 ２　先進国の居住・都市問題	 統計や主題図を用いて世界の人口分布と人口増加の特徴を把握し，その背景について考察する。 人口ピラミッドの作成や統計の読み取りを通じて，先進国の抱える人口問題とそれへの対策について考察する。 主題図や統計を用いて，世界の食料増産･供給の地域差を認識し，食料問題の存在を把握する。食の安全に関する問題について，身近な食品を例に考察する。 都市問題発生の要因を，都市化の過程との関わりから考察するとともに，問題解決へ向けての具体的な取り組みを把握する。 写真から都市の景観の変化を読み取り，再開発による変化を視覚的にとらえる。地図やグラフから再開発の必要性を考察し，持続可能な社会を実現する再開発のあり方を追究する。				

	６節　民族問題 民族問題・難民問題	難民が発生する地域と難民を受け入れる地域の地理的関係を考察する。民族問題の歴史的背景について，具体的な事例をあげて考察する。				

3	第３編　持続可能な地域づくりと私たち 第１章　自然環境と防災 １節　日本の自然環境の特色 1　日本の地形の特色 2　日本の気候の特色	日本列島の地帯構造とプレートの境目の主題図を用いて，日本の地形の特性について考察する。地形の特性と自然災害との関係性について，主題図や衛星画像などを用いて考察する。地形の特性と人々の生活との関係性について，主題図や衛星画像などを用いて考察する。 日本列島の季節ごとの天候の変化の要因について主題図の読み取りを通して考察する。主題図や雨温図の読み取りを通して，日本の気候環境の多様性について考察する。日本列島の気候の特性と自然災害との関係性について，地形学習の成果をふまえて考察する。日本列島の気候の特性に応じた人々の生活形態について，具体的事例をあげて考察する。	a:変化に富んだ日本列島の自然環境，大きな被害をもたらす自然災害について，基本的な事柄と追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。多発している日本列島の自然災害とその克服について，基本的な事柄と追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 b:日本列島の地形や気候と自然災害について，地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。日本列島のさまざまな自然災害と防災対策について，地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:日本列島の豊かな自然環境と近年増大している自然災害に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。深刻な日本列島の自然災害と防災に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。	定期考査	定期考査 レポート課題 ワークシート	レポート課題 振り返りシート

	2節　さまざまな自然災害と防災 1　地震災害・津波災害(1)	地震や津波の発生メカニズムについて模式図を用いて考察する。地震や津波によってもたらされる被害の状況について，複数の写真を用いて考察する。				
	2　地震災害・津波災害(2)	主題図や写真を用いて，地震や津波の発生頻度とその周期性について考察する。地震災害の軽減へ向けた取り組みについて具体例をあげながら考察する。自宅もしくは学校周辺地域のハザードマップを用いながら災害時に取るべき避難行動について考察する。				
	3　火山の災害とめぐみ	火山災害がもたらす人命に及ぼす被害について具体例をあげながら考察する。火山災害のメカニズムについて，図や写真を用いて考察する。火山のもたらす恩恵について具体例をあげながら考察する。				
	4　気象災害寒さ・暑さと台風	季節ごとに生じる気象災害の原因について考察する。季節ごとに生じる気象災害がもたらす被害の状況や人々の生活に与える影響について，写真を用いて考察する。				

	5　気象災害 大雨と洪水・土砂災害	大雨がもたらす各種災害とそれらのメカニズムについて，模式図を用いて考察する。大雨がもたらす各種自然災害の被害の状況について，地形図を用いて考察する。大雨がもたらす各種自然災害の軽減に向けた対応策について，　写真やハザードマップを用いて考察する。				
	6　都市と自然災害	都市における各種災害の発生要因について，写真や地理院地図を用いて多面的に考察する。都市における各種災害がもたらす被害の状況について，写真や地理院地図を用いて多面的に考察する。都市における各種災害がもたらす被害の軽減に向けた対応策について，ハザードマップや写真を用いて考察する。				
	7　防災・減災と復旧・復興	防災・減災へ向けた各地域における取り組みについて，自助・共助・公助の観点から写真を用いて考察する。防災・減災へ向けた公助の取り組みには限界があり，自助・共助の観点から意識を高める必要性があることを，さまざまな取り組みを概観することで考察する。				

	第２章　生活圏の調査と地域の展望 1　調査テーマの設定 2　地域調査（資料調査） 3　まとめと発表	学校周辺地域における新旧の地形図や統計を用いて地域の変容について考察する。地域調査の一連の流れをふまえながら，学校周辺地域で生じている複数の課題を見いだし，班ごとに調査テーマを設定する。地域調査の一連の流れをふまえながら，班ごとに身近な地域の調査計画を立案する。 身近な地域の調査に必要な資料収集の方法について習得する。身近な地域の課題の解決に必要な仮説の設定・検証の方法について，資料調査を通して習得する。 身近な地域における調査で得た結果を分析する視点について習得する。調査内容の分析結果を的確にまとめる方法について習得し，まとめを行う。身近な地域における調査の成果を発表する方法について習得し，クラス内もしくは校内で発表する。身近な地域における調査で明らかとなった地域の抱える課題をふまえ，持続可能な地域社会のあり方とその実現に向けた社会参画の意義について認識する。	a:地域調査の手順や注意すべきことを理解している。地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表にまとめたりしている。 b:身近な地域の特徴を，設定したテーマに沿ってとらえ，明らかになったことを適切に表現している。 c:身近な地域の特徴を明らかにするために，意欲的に地域調査に取り組もうとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度